

平成25年度

事業報告書



おわせ社協ロゴマーク

“わごころ”

社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会

平成 25 年度

尾鷲市社会福祉協議会

理 念

尾鷲市のだれもが安心して生活できるまちづくりを
すすめていく

職員心得

- 1 笑顔であいさつ
- 2 責任ある行動
- 3 思いやりを持って接する

目 次

I. 企画調整部門	1
1. 総務係	1
2. 地域福祉係	8
II. 総合相談・支援部門	22
1. 地域包括支援センター	22
2. 紀北地域障がい者総合相談支援センター	31
III. 介護サービス部門	38
1. 居宅介護支援事業所	38
2. 訪問介護事業所	40
3. 訪問入浴事業所	43
4. 輪内通所介護事業所	44
5. 尾鷲通所介護事業所（いきいき）	46
IV. 輪内高齢者サービスセンター	48
1. 輪内高齢者サービスセンター	48

I. 企画調整部門

1. 総務係

1. 会務の運営

適正な法人運営と事業の円滑な事業推進を図るため、次のとおり役員会等を開催した。

(1) 理事会

第1回 平成25年5月23日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 9名

- ① 平成24年度事業報告書(案)について
- ② 平成24年度決算報告書(案)について
- ③ 平成25年度第1回補正予算書(案)について
- ④ 定款の一部変更(案)について
- ⑤ 評議員の一部改選(案)について

第2回 平成25年10月24日 尾鷲市福祉保健センター

出席者 7名 委任出席 4名

- ① 介護事業所経営改善に伴う規則等の改正(案)について
- ② 平成25年度第2回補正予算書(案)について
- ③ 評議員の一部改選(案)について

第3回 平成26年1月31日 書面決議

賛成者 11名

- ① 評議員の改選(案)について
- ② 苦情解決事業第三者委員の変更(案)について

第4回 平成26年3月27日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 9名

- ① 平成26年度事業計画書(案)について
- ② 平成26年度資金収支予算書(案)について
- ③ 平成25年度第3回補正予算書(案)について
- ④ 経理規程の変更(案)について
- ⑤ 評議員の選任(案)について

(2) 評議員会

第1回 平成25年5月23日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 24名

- ① 平成24年度事業報告書(案)について

- ② 平成 24 年度決算報告書(案)について
- ③ 平成 25 年度第 1 回補正予算書(案)について
- ④ 定款の一部変更(案)について
- ⑤ 理事の一部改選(案)について

第 2 回 平成 25 年 10 月 24 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 19 名

- ① 平成 25 年度 第 2 回補正予算書(案)について

第 3 回 平成 26 年 1 月 31 日 書面決議 賛成者 32 名

- ① 理事の一部改選(案)について

第 4 回 平成 26 年 3 月 27 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 23 名

- ① 平成 26 年度事業計画書(案)について
- ② 平成 26 年度資金収支予算書(案)について
- ③ 平成 25 年度第 3 回補正予算書(案)について
- ④ 経理規程の変更(案)について
- ⑤ 理事の選任(案)について

(3) 監事監査

- ① 平成 25 年 5 月 8・9 日 尾鷲市福祉保健センター 監事 2 名
平成 24 年度 1 月～3 月 定期会計監査
平成 24 年度の事業及び決算についての監査
- ② 平成 25 年 9 月 11 日 尾鷲市福祉保健センター 監事 2 名
平成 25 年度 4 月～6 月 定期会計監査
- ③ 平成 25 年 11 月 13 日 尾鷲市福祉保健センター 監事 2 名
平成 25 年度 7 月～9 月 定期会計監査
- ④ 平成 26 年 2 月 12 日 尾鷲市福祉保健センター 監事 2 名
平成 25 年度 10 月～12 月 定期会計監査

(4) その他の監査

- ① 平成 26 年 1 月 17 日 財政援助団体等監査
(尾鷲市監査事務局)

2. 事務局体制の強化

(1) 職員体制の配置

嘱託職員 1名登用試験を行った。

1名採用試験を行った。(H26.4.1採用)

日額職員 1名採用試験を行った。(H26.4.1採用)

(参考:平成25年度退職者 正規1名、嘱託3名、日額1名)

・適正な人事異動の実施

(2) 福祉関係資格取得の奨励及び、各種研修会への参加

① 資格取得の状況(新規)

・介護福祉士 3名

② 研修会への参加と開催

県社協の実施する役職員セミナーや専門、職種別研修会に積極的に参加した。社会福祉従事者としての自覚、使命感を育て問題解決能力を養うための自己啓発の促進として、下記の経験や役職に応じた体系的な研修に参加した。

・中堅職員研修 1名

・指導的職員研修 1名

(3) 事務の効率化

① 介護保険関係ソフトの入替

② 年休等庶務関係のオンラインの検討

(4) 活動基盤の改善・充実

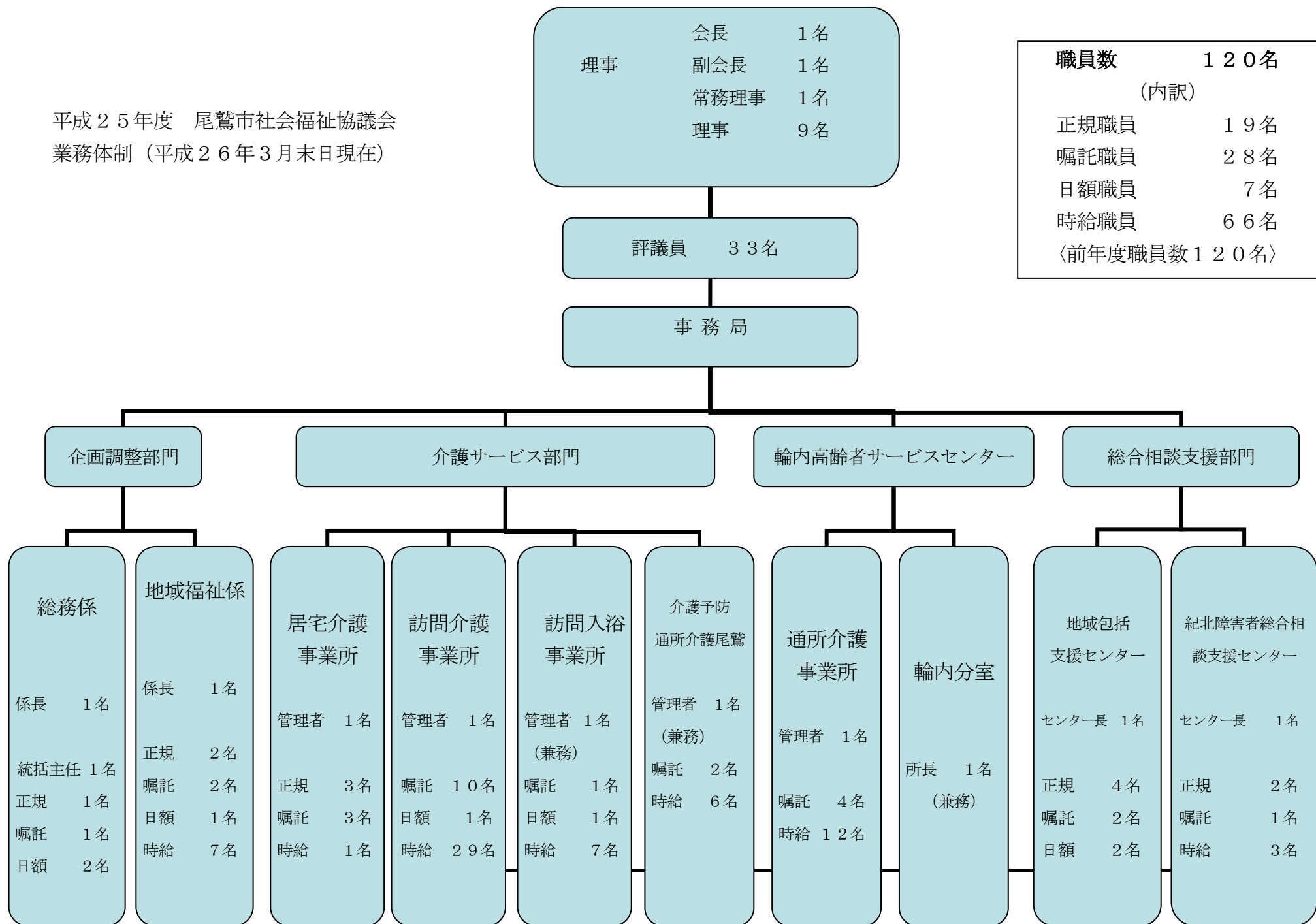
① 職員給与規程の改正

② 嘱託職員の雇用等に関する就業規則の一部変更

③ 日額・時給等職員の雇用等に関する就業規則の一部変更

④ 経理規程の変更

平成25年度 尾鷲市社会福祉協議会
業務体制（平成26年3月末日現在）



3. 災害時における避難者安全確保体制

(1) 避難所開設

日 時:	平成 25 年 9 月 4 日 大雨警報	避難者:6 名
日 時:	平成 25 年 9 月 15 日 16 日 台風 18 号	避難者:6 名
日 時:	平成 25 年 10 月 15 日 16 日 台風 26 号	避難者:1 名
日 時:	平成 25 年 10 月 25 日 台風 27 号	避難者:0 名

(2) 防災講演会の開催

テーマ: 「介護に携わる者の津波発災時等の心得として」

講 師: 群馬大学教授 片田 敏孝

日 時: 平成 26 年 3 月 19 日

場 所: 尾鷲市福祉保健センター

参加者: 介護事業者ほか 130 人



(3) 避難防火訓練の実施

日 時: 平成 25 年 7 月 17 日

平成 26 年 1 月 23 日

内 容: 避難誘導訓練、通報訓練
初期消火訓練

4. 地域福祉財源の確保

(1) 補助事業・委託事業などの公的助成の確保

(2) 自主財源の確保

① 善意銀行の運営

市民の善意により、現金物品が寄贈された。

現金: 一般預託	25 件	1,708,033 円
指定預託	10 件	674,079 円
合 計	35 件	2,382,112 円
※前年度合計	33 件	3,025,674 円

5. 福祉団体活動支援

(1) 老人クラブ活動の推進と支援

老人の健康、生きがいなどの福祉の向上を図るとともに 社会奉仕活動への積極的な参加促進を支援した。

- ① 老人クラブ連合会活動の支援 30 クラブ・会員数 1,631 名
- ② 老人の社会奉仕活動への参加促進の支援
- ③ 高齢者友愛訪問活動への支援
- ④ 尾鷲市福祉保健センターを活用した各種講座の開催

	講 座 数	延べ参加人数
平成25年度	10講座	3,699名
前年度	10講座	3,472名

(2) 遺族会の支援

遺族会活動の支援と尾鷲市戦没者追悼式を共催した。

尾鷲市戦没者追悼式 尾鷲市との共催

日 時： 平成25年6月30日
場 所： 尾鷲市民文化会館
参列者： 250名

6. 苦情解決事業の推進

苦情解決体制の一層の充実を図り、第三者委員をはじめ地域住民からの苦情を汲み上げるとともに、苦情に対する職員の意識を高め、サービスの質の向上に取り組んだ。

① 苦情解決体制の構築

- ・苦情解決責任者の設置 事務局長
- ・苦情受付担当者の設置 総務係長
- ・第三者委員の設置 3名委嘱

② 苦情解決事業第三者委員会の開催(苦情報告)

日 時： 平成25年8月7日
場 所： 尾鷲市福祉保健センター1階 ボランティア室
参加者： 第三者委員 3名 事務局 2名

③ 苦情解決事業第三者委員研修会への参加

日 時: 平成 25 年 10 月 4 日

場 所: 津市三重県総合文化センター

内 容: 講演「お客様をクレマーに変貌させない苦情対応のテクニック」

④ 苦情内容・苦情総数

苦情の内容	平成 25 年度	前年度
ケアの内容に関わる事項	0	0
個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0
財産管理・遺産・遺言等	0	0
制度・施策に関わる事項	0	0
その他(職員の言動・交通マナー)	0	3
本会以外への苦情等	0	0
合 計	0	3

2. 地域福祉係

1. 小地域福祉活動事業

(1) 地区福祉委員会の活動支援

① 代表者懇談会の開催

地区福祉委員会が抱える問題の共通理解と早期解決を目的に代表者による懇談会を開催した。

開催日：平成 25 年 6 月 14 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

内 容：活動予定について、意見交換

桑名市桑部地区社協との交流会

参加者：14 名

② 合同座談会の開催

市内 17 地区の福祉委員会を 3 ブロックに分けて委員同士の交流と情報交換を行った。

【第 1 回】

開催日：平成 25 年 7 月 23 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

地 区：中村町・坂場・宮ノ上座ノ下・須賀利・野地町・新田

参加者：20 名

【第 2 回】

開催日：平成 25 年 7 月 24 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

地 区：九鬼・早田・矢浜・坂場・須賀利

参加者：12 名

【第 3 回】

開催日：平成 25 年 8 月 2 日

場 所：三木里コミュニティーセンター

地 区：三木浦・三木里・古江・賀田・曾根・梶賀

参加者：23 名



③ 研修会の開催

地区の課題や委員の資質向上を図るための研修会を実施した。

開催日：平成 25 年 10 月 10 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

内 容：「防災・減災 巨大地震と備え」

講 師：みえ防災コーディネーター尾鷲事務局長 森田直樹氏

参加者：46 名



(防災研修会)

④ 活動助成金の交付

(ア) 基本助成（2 万円）の助成及び前年度に募集した地区の賛助会費の 50%を助成

(イ) 活動助成（あったかふれあい訪問活動・高齢者ふれあいサロン・世代間交流事業）の実施による助成



(あったかふれあい訪問)



(ふれあいサロン)

⑤ 高齢者ふれあいサロン、あったかふれあい訪問活動、世代間交流事業の実施

(単位：回／名)

地区福祉委員会		ふれあい訪問		ふれあいサロン		世代間交流	
		回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
三木浦		6	868	3	49	2	208
賀田		2	135	—	—	—	—
矢浜		2	357	—	—	—	—
倉ノ谷		2	145	2	69	1	50
中村町		3	225	1	20	—	—
三木里		3	268	—	—	—	—
古江		3	341	1	120	—	—
梶賀		4	184	2	45	—	—
坂場		4	329	—	—	—	—
曾根		3	172	1	60	—	—
九鬼		1	172	2	155	—	—
宮ノ上・座ノ下		2	131	2	55	2	101
泉		3	115	—	—	—	—
早田		4	214	2	30	—	—
須賀利		2	159	—	—	1	30
野地町		2	81	1	11	—	—
新田		4	306	—	—	—	—
【未結成地区】							
北浦町		1	81	—	—	—	—
中井町		1	50	—	—	—	—
港町		1	45	—	—	—	—
中川		1	85	—	—	—	—
平成 25 年度	訪問	21 地区		のべ 54 回		のべ 4,463 名	
	サロン	10 地区		のべ 17 回		のべ 614 名	
	世代間	4 地区		のべ 6 回		のべ 389 名	
前年度	訪問	22 地区		のべ 59 回		のべ 4,765 名	
	サロン	13 地区		のべ 31 回		のべ 1,260 名	
	世代間	5 地区		のべ 8 回		のべ 443 名	

(2) 住民懇談会の開催

平成 24 年度の三重県社会福祉協議会助成事業（小地域安心生活モデル事業）実施後の継続として、光ヶ丘地区の住民が地域で繋がり、支え合う仕組みづくりを目的に実施した。

【第 1 回】

開催日：平成 25 年 10 月 15 日

場 所：光ヶ丘セミナーハウス

参加者：9 名（民生委員児童委員、自治会長）

【第 2 回】

開催日：平成 26 年 1 月 30 日

場 所：光ヶ丘セミナーハウス

参加者：9 名（民生委員児童委員、自治会長ほか）

(3) 地域交流推進事業〈地域研修会〉の実施

（三重県社会福祉協議会助成事業）

地域のシニア世代（60 歳以上）の方々がいきいきと生活できるよう、食生活、ひいては食を通じた社会参加を目的に研修会を実施した。

開催日：平成 25 年 9 月 26 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

内 容：「ヒノキで万能ナイフ作り」

～たよりになる相棒見つけませんか～

講 師：おわせ町かど博物館田原屋 池田比早子氏

参加者：25 名

(4) 第 7 回全国校区・小地域福祉活動サミット IN みえへの参加

地域生活支援構築モデル推進事業（三重県社会福祉協議会助成事業）の助成事業として、小地域福祉活動の担い手を養成することを目的に、活動のきっかけづくりとして参加を支援した。

開催日：平成 25 年 11 月 28 日

参加者：12 名（民生委員児童委員ほか）

(5) 尾鷲いきいきセミナーの開催

地域生活支援構築モデル推進事業（三重県社会福祉協議会助成事業）の助成事業として、シニア世代（60 歳以上）が充実した人生を送るために必要な知識・技術の取得を目的として全 7 回の講座を実施した。

開催日・テーマ：

- 第1回 平成26年1月21日 傾聴講座「あなたもこれで聞き上手♪」
 第2回 平成26年1月28日 傾聴講座「あなたもこれで聞き上手♪」
 第3回 平成26年2月4日 本を作らない「自分史の楽しみ方」講座
 第4回 平成26年2月10日 シニア世代の健康づくり（食と運動）
 第5回 平成26年2月18日 シニアの生活設計講座
 第6回 平成26年2月25日 相続講座「相続のこと知っておきませんか」
 第7回 平成26年3月4日 「地域あんしん生活」講座

参加者：124名（民生委員児童委員、地区福祉委員、ボランティアほか）

2. 赤い羽根共同募金運動の推進『じぶんの町を良くするしくみ』づくり

(1) 募金運動の実施

民生委員児童委員、自治会、婦人会など多くの関係者の協力を得て募金活動を実施した。

① 一般募金運動（強化月間：平成25年10月1日より2ヵ月間）

募金実績

単位：円

	平成年25度	前年度	前年比較
目標額	3,514,000	3,497,200	16,800
実績額	3,375,422	3,371,219	4,203
達成率	96.05%	96.4%	▲0.35%

募金種別による内訳

単位：円／件

	平成25年度		前年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
戸別募金	2,184,427	4,717	2,199,822	4,532	▲15,395	185
法人募金	713,000	117	734,000	118	▲21,000	▲1
街頭募金	65,574	1	85,193	1	▲19,619	0
学校募金	124,217	7	57,661	7	66,556	0
職域募金	107,000	14	140,352	10	▲33,352	4
イベント募金	60,745	6	75,244	5	▲14,499	1
ハーフバレンタイン	12,856	1	16,726	1	▲3,870	0
募金箱・その他	107,603	17	62,221	11	45,382	6
合 計	3,375,422	4,880	3,371,219	4,685	4,203	195

(2) 募金配分金による事業の充実

- ① 世代間交流事業（自治会 7 団体） 17 万 5 千円
- ② 障がい児団体研修事業助成（尾鷲市身体障がい者互助会） 5 万円
- ③ 友愛訪問活動助成（尾鷲市老人クラブ連合会） 21 万円
- ④ おしゃべりほのぼのサロン事業

（単位：名）

市町 月	尾鷲 (第1週)	尾鷲 (第3週)	九鬼	早田	須賀利
4 月	10	11	10	7	8
5 月	7	10	10	5	8
6 月	10	7	5	8	7
7 月	7	7	10	5	7
8 月	—	—	—	—	—
9 月	8	8	9	—	7
10 月	10	—	11	7	6
11 月	11	7	11	5	7
12 月	5	7	11	—	6
1 月	—	5	11	6	7
2 月	6	7	9	8	7
3 月	5	6	12	6	6
のべ人数	79	75	109	57	76

⑤ 子育て支援事業

各関係機関との情報共有と協働を図り、地域の子育て世代の住みやすいまちづくりを目的に実施した。

(ア) 子育てグッズ「無料レンタル」事業

チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッドを貸出した。

(イ) 子育てグッズ「リサイクル」事業

自宅で不要になった物品の仲介を行った。

(ウ) 児童交流室の自由開放と子育て情報の発信

子育てママの仲間づくり、子供たちの遊び場を提供し、絵本の貸出し、子供イベントなどの情報を発信した。

3. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンターの効果的な運営

- ① 市内ボランティア団体への情報提供
- ② コーディネーターによるボランティア相談支援
- ③ 安全な活動環境の支援として、ボランティア活動保険および行事用保険加入促進と保険料の一部助成
(ボランティア活動保険 加入件数 783 名)
(ボランティア行事用保険 延べ 38 団体、57 事業開催)
- ④ ボランティアグループへの助成実施
(1 団体 2 万円を 13 団体に助成 26 万円)
- ⑤ 福祉施設協働事業の実施
「紀北作業所夕涼み会」への参加協力 平成 25 年 8 月 22 日

(2) 各種行事の開催と人材育成

子どもたちが心豊かに育つ一助となることを目的に、福祉映画上映会、子ども講座などを開催した。また、行事の住民参加を図り地域の個人ボランティアや、中学校・高校生ボランティアを巻き込んで実施した。

① おわせ社協こども講座

開催日：平成 25 年 8 月 21 日

平成 26 年 2 月 15 日

参加者：小学生 40 名

内 容：エコクラフト小物入れ作り



子ども映画上映会の開催

開催日：平成 25 年 7 月 31 日 午前・午後の 2 回上映

参加者：午前 89 名、午後 87 名

内 容：映画「ロラックスおじさんの秘密の種」・模擬店

ボランティア：13 名（高校生ボランティア）



② 映画上映・もちつき大会

開催日：平成 25 年 12 月 7 日

参加者：乳幼児・保護者 計 117 名

内 容：映画「トムとジェリー シャーロックホームズ」・親子もちつき大会

ボランティア：18 名（一般・中学生）

(3) 各種研修会参加による技術の取得

① ボランティアコーディネーター養成研修（基礎編）への参加

ボランティアコーディネーターに必要な知識、技術、価値（視点）を習得するため、三重県社会福祉協議会による研修会に参加した。

開催日：第 1 回 平成 25 年 6 月 28 日

第 2 回 平成 25 年 7 月 26 日

第 3 回 平成 25 年 10 月 25 日

第 4 回 平成 25 年 11 月 29 日

第 5 回 平成 25 年 12 月 13 日

第 6 回 平成 26 年 1 月 24 日

参加者：2 名

4. 福祉協力校事業の推進

(1) 福祉協力校の指定と助成

福祉協力校〈小学校 7 校、中学校 2 校、高校 1 校、特別支援学校 1 校〉を指定し、各学校の福祉教育の充実を図るために助成を行った。

（1 校 5 万円を上限、総額 51 万 5 千円）

(2) 福祉協力校連絡会議の開催

各学校福祉教育担当者との情報交換を行った。

開催日：平成 25 年 6 月 20 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

参加者：10 名

(3) 福祉体験教室の開催

福祉体験教室の開催や教員への助言を行った。

内 容：福祉保健センター見学、車椅子体験、高齢者疑似体験、
視覚障がい者体験

実施校：尾鷲小学校、宮ノ上小学校、矢浜小学校、向井小学校、
輪内中学校



(センター見学：ユニバーサルデザイン)



(車椅子体験)

(4) 福祉作品コンクールの実施

福祉教育のフォローアップとして小・中学校の生徒を対象に、福祉をテーマに作文・標語・絵画の作品を募集し、作品の選考に教員はじめ福祉関係者の協力を得た。入賞作品を社会福祉大会にて表彰し、福祉の啓発を行った。

(5) 福祉教育への協力

各学校が行う、各種福祉関係行事への参加、募金や収集活動、地域交流などの取り組みについて助言・調整などを行った。

5. 社協会員制度の推進

理事・評議員、民生委員児童委員、地区福祉委員会などとの連携により、当会が行う、地域福祉活動への理解と参加を呼びかけ、賛助会費の募集を行い地域福祉活動の財源確保に努めた。

単位：円／件

	平成 25 年度		前年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
賛助会員	1,560,000	1,436	1,657,000	1,521	▲97,000	▲85
特別会員	315,000	44	340,000	48	▲25,000	▲4
団 体 等	20,000	1	20,000	1	0	0
総数	1,895,000	1,481	2,017,000	1,570	▲122,000	▲89

6. 総合相談事業

「だれもが安心して生活できるまちづくり」の理念のもと、市民の困りと相談に各係で対応し、他関係機関との連絡調整を行った。

※高齢者・障がい者相談などは各係で実施集計

7. 貸付事業（自立更生のための福祉貸付事業）

(1) 生活福祉資金（実施主体：三重県社会福祉協議会）の貸付状況

- ① 平成 25 年度中の完済件数 4 件
緊急小口資金 3 件
教育支援費 1 件（就学支度資金を含む）
- ② 平成 25 年度中の新規契約件数
緊急小口資金 3 件
- ③ 継続返済件数 15 件
教育支援費（就学支度資金を含む） 10 件
福祉費（障がい者自動車購入費） 1 件
（障がい者住宅改修費） 1 件
技能習得費 1 件
緊急小口資金 2 件

(2) 福祉金庫緊急一時貸付金の貸付状況

- ① 平成 25 年度中の完済件数 4 件 (前年度 6 件)
- ② 平成 25 年度中の新規貸付数 4 件
- ③ 期限内返済中及び滞納者の状況

償還の状況	人数
返済中・滞納者数	23名
定期的に返済している方	2名
不定期であるが、返済をしている方	1名
返済は可能な状況と判断できるが、返済が滞っている方	15名
①今年度1回以上の返済があったが、途中で滞ってしまった方	2名
②今年度全く返済実績のない方	17名
保証人によって返済がされている方	1名
体調不良や諸事情により、経過観察又は保留の方	4名
詳細が全く掴めず、行方不明の方	1名
所在が明らかだが、かなり遠方のため対応に苦慮している方	1名

8. 援護事業の実施

(1) 災害に対する援護事業

火災被災者への対応 1 件（支給金品：見舞金、毛布、日用品）

(2) 「子どもの日」すこやか事業（児童支援事業）

保育園・幼稚園児のすこやかな成長を願い、5月5日の子供の日に合わせて菓子をプレゼントした。対象児童514名（前年度527名）

(3) 「小学校卒業」記念品贈呈事業（母子父子支援事業）

一人親家庭小学校卒業生に対し、卒業記念品として図書券を贈呈した。対象者29名（前年度36名）

9. 日本赤十字社事業および社資増強運動（日赤募金）への協力

(1) 社資増強運動（日赤募金）の実施

日赤奉仕団（尾鷲市連合婦人会）、自治会、各協力団体の協力を得て、募金運動を実施した。

① 募金実績（平成25年度5月1日より1ヵ月間実施）

	平成25年度	前年度	前年比較
目標額	3,087,000 円	3,145,000 円	▲58,000 円
実績額	2,723,353 円	2,736,500 円	▲13,147 円
達成率	88.2%	87%	1.2%

(2) 赤十字義援金および緊急物資の取り扱いと配布

(3) 赤十字救急法講習会の開催

開催日：平成25年7月20日・21日・27日

受講者：24名

指導者：日赤救急法指導員



10. 福祉団体活動支援

(1) 尾鷲市身体障がい者互助会への支援

当事者団体である身体障害者互助会の事務及び活動支援を行った。

11. 福祉保健センター貸館業務の実施

(1) 尾鷲市福祉保健センターの利用促進と効果的な運営

福祉・保健活動の拠点として研修会や交流、市民の社会参加の場として市民が利用しやすい環境を整備し、管理運営を適切に行った。

① 尾鷲市福祉保健センター利用実績

単位：回／人

	利用回数	利用数
4月	1 6 8	2, 3 7 6
5月	2 1 6	3, 8 7 3
6月	2 3 1	5, 4 7 8
7月	2 4 3	6, 1 1 8
8月	2 4 5	5, 1 6 8
9月	2 2 5	3, 8 5 5
10月	2 4 5	3, 9 4 8
11月	2 3 9	4, 2 1 2
12月	2 0 9	4, 1 7 0
1月	1 8 8	2, 9 9 7
2月	2 3 6	4, 7 1 3
3月	2 4 0	4, 3 6 6
延べ	2, 6 8 5	5 1, 2 7 4
前年度	2, 1 2 7	3 9, 7 1 6

平成25年度は宮ノ上小学校改修工事に伴い、学童保育「放課後クラブくれよん」の仮設使用と尾鷲市選挙投票所使用のため、実績が増加した。

② 車椅子および備品の貸出

自宅で一時的に車椅子の必要な方への車椅子の貸出しを行った。また、福祉・保健活動を始めとする市民活動者への支援として機材の貸出しを行った。

12. 各種大会の実施および広報活動の実施

(1) 第25回尾鷲市社会福祉大会の開催

尾鷲市の福祉に貢献した方を顕彰するとともに福祉の啓発を行った。

開催日：平成25年12月14日

場 所：尾鷲市中央公民館

参加者：約150名

【第一部：顕彰】

① 尾鷲市長表彰

- | | |
|--------------------|-------|
| ・ 民生委員児童委員功労者 | 該当者なし |
| ・ 社会福祉施設・社会福祉団体功労者 | 9名 |
| ・ 社会福祉活動優良地区および団体 | 2団体 |
| ・ 社会福祉事業協助者 | 1名 |

② 尾鷲市社会福祉協議会長表彰

- | | |
|--------------------|-------|
| ・ 民生委員児童委員功労者 | 2名 |
| ・ 社会福祉施設・社会福祉団体功労者 | 7名 |
| ・ 社会福祉活動優良地区および団体 | 該当者なし |
| ・ 社会福祉事業協助者 | 1名 |

【第二部：福祉作品コンクール表彰及び発表】

作文 小学生の部、中学生の部

標語 小学生及び中学生を合同で審査

絵画 小学生の部、中学生の部

発表 活動報告（ガールスカウト三重県連盟第5団）

(2) 尾鷲市ふれあいスポレク祭2013の開催

スポーツ、レクレーションを通じて、地域の障がい者の健康増進、市民の障がいに対する理解を深め地域交流に取り組んだ。

開催日：平成25年10月27日

場 所：東紀州くろしお学園尾鷲分校体育館

参加者：約350名

内 容：各種目の実施、模擬店・販売

参加団体：ボランティア団体、福祉協力校、尾鷲市連合婦人会、
障がい者支援施設・作業所、民生委員児童委員協議会

(3) 広報啓発活動の実施（市広報や新聞を通じた広報活動）

社協だよりの発行（年4回、各11,600部発行）を始め、地元新聞やケーブルテレビ等に積極的に広報活動を行った。

13. 地域福祉権利擁護事業の受託実施

地域包括支援センター、障がい者総合相談支援センター及び関係機関と連携を取り、積極的な対応を心掛けた。利用者と信頼関係の構築を継続し、安心できる適切な金銭管理・書類預かりサービスを実施した。

平成25年度実績

単位：件

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
相談件数	90	73	335	21	519	437
新規契約	2	1	1	0	4	5
解約件数	3	0	1	0	4	5

利用者数

単位：件

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
契約件数	3	17	9	6	35	35

14. 成年後見人制度における利用者支援事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどが原因で判断能力が低下し、家庭裁判所によって成年後見等の開始の審判が下りた方の成年後見人等を社会福祉法人として受任し、後見業務を行った。

【受任件数】

単位：件

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
新規受任	0	0	0	0	0	0
既受任	1	0	0	0	1	1
終了件数	0	0	0	0	0	0
累計件数	1	0	0	0	1	1

II. 総合相談・支援部門

1. 地域包括支援センター

1. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援

① 総合相談窓口の設置

相談内容に応じたサービスや制度の利用支援・情報提供及び関係機関等の紹介等対応を行なった。

相談受付件数：平成 25 年度 451 人 前年度 527 人 相談区分集計〈延べ件数〉

内 訳	介護・日常生活	サービス利用	医 療	所 得	その他	苦 情	権利擁護	合計
累計 (件)	337	185	22	16	8	2	6	576

② 地域包括支援センターの周知・啓発

「社協だより」への記事の記載 平成 25 年度 4 回 前年度 4 回

「包括だより」の発行 平成 25 年度 4 回 前年度 3 回

③ 地域ケア会議の運営

他職種共同による個別ケースの支援を通じた地域支援ネットワークの構築、地域の自立支援に資するケアマネジメントの支援、地域の課題の把握などを行った。 平成 25 年度 17 件

(2) 権利擁護業務

① 高齢者虐待への対応・防止

(ア) 高齢者虐待相談窓口の設置

基幹となる尾鷲市福祉保健課と共同で高齢者虐待についての相談窓口を設置し相談の対応を行った。

(イ) 高齢者虐待相談の受理

平成 25 年度受理件数 2 件（うち認定 1 件） 前年度 11 件

内訳	身体的	心理的	経済的	性的	介護放棄
人数	1	0	0	0	1

② 認知症高齢者への支援

(ア) 認知症サポーター養成講座

平成 25 年度 109 名 前年度 113 名

	開催月日	参加人数	場 所
第 1 回	5 月 31 日	17	県立尾鷲高等学校
第 2 回	7 月 5 日	7	イオン尾鷲店
第 3 回	8 月 7 日	10	イオン尾鷲店
第 4 回	9 月 19 日	2	イオン尾鷲店
第 5 回	10 月 17 日	6	イオン尾鷲店
第 6 回	11 月 13 日	11	イオン尾鷲店
第 7 回	11 月 19 日	33	紀北信用金庫本店
第 8 回	12 月 12 日	13	イオン尾鷲店
第 9 回	2 月 12 日	10	イオン尾鷲店



(イ) 認知症地域勉強会

開催月日：平成 26 年 3 月 15 日

参加人数：40 名

場所：早田コミュニティーセンター

講師：九鬼診療所 田中 公人医師



(ウ) 見守りネットワークの構築

徘徊の恐れのある認知症高齢者を地域で支えるため認知症高齢者の情報や対応方法を記載した「見守りお願いシート」を作成し、近隣や商店等に配布し個別の見守り体制を築いた。

(エ) 関係機関との連携

徘徊や迷子になる恐れのある認知症高齢者の情報を「認知症高齢者見守り連絡票」に記載し、尾鷲警察署に登録を行い、警察に保護されたあと速やかに自宅に戻せるよう支援する。

平成 25 年度 2 件 前年度 2 件

③ 福祉制度等の活用

(ア) 地域福祉権利擁護事業の活用相談の結果、地域福祉権利擁護事業の利用調整（相談斡旋を含む）を行った。

(イ) 成年後見制度の活用

相談の結果、成年後見制度の利用援助（情報提供、申立支援、斡旋を含む）を行った。平成 25 年度 2 件 前年度 5 件

(ウ) 出前講座の開催

平成 25 年度 5 件 前年度 11 回

開催月日	内 容	参加 人数	依 頼 先
9 月 12 日	振り込め詐欺と消費者被害の予防	13	倉の谷集会所
10 月 22 日	介護予防と健康体操	19	大曾根コミュニティーセンター
11 月 12 日	介護予防と健康体操	9	向井コミュニティーセンター
11 月 20 日	権利擁護について	15	グループホーム ゆりかご
12 月 4 日	巡回人権講座	19	須賀利コミュニティーセンター
	合 計	75	

(3) 包括的、継続的ケアマネジメント支援

① 地域包括ケア会議の開催

尾鷲市から委嘱された委員により、介護予防・生活支援サービスや地域ケアの総合調整を推進するため3部会構成により、意見交換や検討等を行った。 《昨年度からの継続開催》

全体会議

	開催月日	参加人数	内 容
第3回	2月20日	19	① 各部会の取り組み内容の報告 ② 今後の地域包括ケア会議について ③ 意見交換

地域生活支援部会

	開催月日	参加人数	内 容
第4回	6月20日	15	① 事例検討における個人情報取り扱いについて 熊野ひまわり基金法律事務所 本間 博子弁護士
第5回	8月22日	3	① 事例紹介「自宅で最後を迎えたい末期肺ガンでターミナルケアのケース」 ② ケア会議等における情報共有
第6回	10月31日	7	① ケア会議開催におけるポイントの整理について



虐待防止等検討部会

	開催月日	参加 人数	内 容
第4回	6月14日	13	① 前回までの振り返り ② 適切な相談援助に繋げるための意見交換
第5回	8月7日	10	① 前回までの振り返り ② 「早期発見体制の強化」に対して今後取り組むべきこと
第6回	10月25日	15	① 前回の検討内容の整理

地域課題検討部会

	開催月日	参加 人数	内 容
第4回	6月24日	9	① 介護予防に関する各自の取り組みについて ② 意見交換
第5回	8月30日	8	① 前回までの振り返り ② 「介護予防の今後の取り組み」について
第6回	11月20日	8	① 前回までの振り返り ② 「介護予防の今後の取り組み」についての整理



② ケアマネジャー支援

居宅介護支援事業所連絡会議において事例検討及び研修会を開催し
ケアマネジメント力を高める取り組みを行った。

居宅支援事業所連絡会議 (4回開催)

	開催月日	参加 人数	内 容
第1回	6月11日	27	①「地域福祉権利擁護事業・成年後見制度について」 山本 雄一 ②意見交換・交流会（医療との連携）
第2回	8月12日	27	①「振り込め詐欺等の防止について」 尾鷲警察生活安全課 尾崎 規文氏 ② 意見交換・交流会
第3回	10月3日	尾鷲 市分 21	《紀北町との合同開催》 ①「地域ケア会議をめぐる動きと事例検討会」 日本福祉大学中央福祉専門学校長 長岩 嘉文氏
第4回	1月16日	21	「認知症ケアマネジメント研修会」 NPO 法人 HEART TO HEART 泉 美幸氏

居宅介護支援事業所のケアマネジャーの相談に対して対応を行なった。

平成25年度 58件 前年度 108件



(4) 介護予防ケアマネジメント

介護予防事業、予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行い、介護予防ケアプランの作成等必要な支援を行なった。

① 要支援 1・2 の介護予防支援

平成 25 年度 合計 2,389 件 前年度 合計 2,198 件

予防プラン作成および給付管理数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
地域包括支援センター	138	143	142	144	135	147
委託事業所	51	53	51	48	46	55
合計	189	196	193	192	181	202
認定者	426	421	424	420	421	420
(支援 1)	252	246	245	243	238	246
(支援 2)	174	175	179	177	183	174
利用率(%)	44	47	46	46	43	48

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
地域包括支援センター	144	140	136	140	145	142	1,696
委託事業所	56	59	62	64	72	76	693
合計	200	199	198	204	217	218	2,389
認定者	424	424	428	433	443	437	5,115
(支援 1)	247	245	248	253	254	255	2,970
(支援 2)	177	179	180	180	189	182	2,147
利用率(%)	47	47	46	47	49	50	47

② 二次予防事業対象者への介護予防支援

尾鷲市が実施した 65 歳以上の方への基本チェックリストにより二次予防事業の対象となり事業に参加を希望された方への事業内容の説明、健康相談等を実施し事業の利用支援を行った。

平成 25 年度 77 件 前年度 85 件

事業内容	参加人数	備 考
通所介護予防事業（運動器・うつ・認知症・閉じこもり予防）	42	運動器・閉じこもり予防 うつ予防の複合プログラム
訪問型介護予防事業	4	パンフレットを用いた運動指導、介護相談対応、相談窓口や二次予防事業の周知
電話のみでの情報提供	22	通所型二次予防事業の紹介 生活機能評価の説明
介護保険申請支援	9	

2. 任意事業

(1) ケアプラン点検事業

紀北広域連合主催のケアプラン点検事業に主任介護支援専門員(2名)が2回参加した。

(2) 家族介護支援事業

要介護高齢者を介護する家族の精神負担の軽減と介護者同士の情報の交換を目的にした交流会の開催及び介護者及び介護職員を対象に介護技術についての研修会を開催した。

① 介護者の会の開催

平成 25 年度 66 名 前年度 73 名

	開催月日	参加人数	内 容
第1回	5月16日	5	① おしゃべり会 ② 食生活についてのお話
第2回	8月22日	4	① おしゃべり会 ② 熱中症についてのお話
第3回	11月14日	49	① 介護方法（実技）講習会 ユマニテク福祉大学 伊藤 幾代氏
第4回	2月27日	8	① おしゃべり会 ② ランチバイキングにて交流会

② つどい交流会の開催

泉美幸氏(HEARTTOHEART)と共催して、認知症の方を介護されている方の交流会を実施した。平成 25 年度 4 回 前年度 4 回



(3) 福祉用具・住宅改修支援事業

① 福祉用具の利用支援

福祉用具の利用についての助言や購入支援を行った。

福祉用具購入支援者 平成 25 年度 21 名 前年度 22 名

② 住宅改修の利用支援

住宅改修に関する助言や理由書等の必要書類の作成

住宅改修利用支援 平成 25 年度 42 名 前年度 51 名

3. その他

(1) 研修会への参加

- ・各専門職に対する研修会等

(2) 会議への参加

- ・地域包括支援センター運営協議会
- ・三重県地域包括支援センター連絡会議
- ・運営推進会議

地域密着型小規模特別養護老人ホーム：2 カ所

認知症対応型共同生活介護：7 カ所

- ・養護老人ホーム入所判定委員会

(3) 定例ミーティングの実施（地域包括支援センター内での打合わせ）

- ・新規相談ケースについての検討会
- ・各自担当ケースについての報告・相談
- ・各事業の進捗状況の確認及び調整

2. 紀北地域障がい者総合相談支援センター

1. 紀北圏域障がい者地域生活支援事業

(1) 相談支援事業

障がい者のライフステージに応じた地域生活を支援するために、福祉サービスの利用援助を身近な地域で行う。また、地域で安心できる生活を継続し、障がいの有無により分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会を実現するという総合支援法の理念に基づいた相談支援を行う。

平成 25 年度の相談者実数は 237 名で平成 24 年度より 21 名増加した。相談のべ件数では、訪問と来所相談が大幅に増加した。平成 25 年度の事業計画の重点目標にあげたように、地域に出向いた相談支援を目指した結果といえる。地域に出向くことで障がい理解や相談支援センターの周知につながってきている。計画相談も 2 年目となり、計画説明やモニタリングの来所やサービス担当者会議の開催も増加した。また多くの問題をかかえている方や深刻な問題に直面している方、触法者の地域ケア個別会議開催も増え関係機関との連携を行っている。

支援内容については、福祉サービスの利用に関する支援が多い。また不安の解消や情緒安定に関する支援も多く、特に精神障がいの方については精神科病院や訪問看護、デイケア等のサービスが地域にないため支援センターでの電話相談が有効な支援方法の一つとなっている。

①年間相談者実数および登録者数

単位：人

	実人員	身体 障がい	重症心身 障がい	知的 障がい	精神 障がい	発達 障がい	高次脳機能 障がい	その他
尾鷲市	149	14	3	61	34	28	1	8
紀北町	88	8	5	31	27	16	0	1
計	237	22	8	92	61	44	1	9
昨年度増減	(+21)	(-4)	(+1)	(+31)	(-7)	(-5)	(+1)	(+3)

②支援方法別の相談のべ件数

単位：件

対象者	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	関係 機関	個別支 援会議	その他	計
尾鷲市	420	327	14	329	6	309	127	33	1565
紀北町	226	108	10	319	4	158	48	9	882
今年度 実績	646	435	24	648	10	467	175	42	2447
昨年度 実績	410	190	86	807	8	649	116	136	2402

③支援内容（のべ件数）

単位：件

	述べ件数	尾鷲市	紀北町
福祉サービスの利用に関する支援	384	270	114
障害者症状の理解に関する支援	119	51	68
健康・医療に関する支援	147	67	80
不安の解消・情緒安定に関する支援	432	204	228
保育・教育に関する支援	164	117	47
家族関係・人間関係に関する支援	49	14	35
家計・経済に関する支援	44	24	20
生活技術に関する支援	58	56	2
就労に関する支援	139	91	48
その他	225	152	73

(2) 紀北地域協議会の部会運営

平成 25 年度は従来活動してきた当事者、家族参加型の 2 部会（くらし部会、相談部会）に加え専門部会として 3 部会を立ち上げた。計画相談をスムーズに進め計画担当者のスキルアップをはかる相談支援部会、障がい者の就労について検討する就労部会、精神障がい者の支援について検討するこころ部会である。各部会で検討した内容は紀北地域協議会本会へ提案し、解決策を検討した。また、平成 20 年度から取り組んでいる防災については、避難訓練と炊き出し体験を 2 回実施した。圏域研修はヘルパースキルアップを目的として 2 回開催した。

平成 25 年度 紀北地域協議会部会活動

部会名	内容	開催回数・参加人数
合同部会	部会テーマの選定と 平成 25 年度のまとめ	2 回 延べ参加人数 42 名
くらし部会	テーマ「住みよい街作り」 街歩きマップの作成と、マッ プの利用方法について	部会 5 回・運営部会 5 回 部会参加人数 48 名
相談部会	テーマ「当事者活動につい て」ウィークエンドサークル の活動や運営について	部会 5 回・運営部会 5 回 部会参加人数 62 名
就労部会	就労移行支援事業所について 就労継続支援 B 型利用判定に ついて	部会 4 回・運営部会 5 回 施設見学 1 回 利用判定会議 3 回
相談支援 部会	計画相談のすすめ方について	部会 2 回（各サービス事業所参加）
こころ部会	精神障がい者への理解啓発 講演会開催	部会 3 回・運営部会 4 回 講演会 108 人参加
全体運営部 会	各部会の進捗状況の確認 本会への提案内容の検討	2 回

平成 25 年度 圏域研修

研修名	講師	参加人数
「動作法」を学ぼう	臨床心理士 浅名知香氏 (鈴鹿療育センター)	38 名参加
精神障がい者支援の 心がけについて	社会福祉法人 伊賀昴会 管理者 森哲雄氏	42 名参加



平成 25 年度 避難訓練

日時・開催場所	内容	参加人数
平成 25 年 5 月 25 日 尾鷲市福祉保健センター	駅前児童公園から税務署に避難 訓練し尾鷲市福祉保健センター で炊き出し体験	当事者 30 名 支援者等 32 名 学生ボランティア 15 名
平成 25 年 11 月 30 日 海山老人福祉センター	相賀駅前から新町公園地に避難 訓練し海山老人福祉センターで 炊き出し体験	当事者 20 名 支援者 16 名 ボランティア 10 名 相賀自主防災会 3 名



(3) ピアサポーター活動支援

今まで養成してきたピアサポーターが地域で暮らす障がい者に対して行う支援活動の体制づくりや助言を行う。平成 25 年度は紀伊長島で行うすずらんサロン（日中の居場所作り）の世話人活動として 11 回で 38 名の参加。自宅訪問が 2 回、三重県のピアサポーター研修に 1 名が参加した。

2. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業

平成 27 年度からは障害福祉サービス等の全ての支給決定に先立ち計画作成が必要であることから平成 25 年度も順次計画作成に取り組んだ。

平成 25 年度は新規計画相談 65 件 モニタリング 168 件の作成を行った。病院や施設から地域へ移行し定着支援を行う一般相談支援利用者はなかった。

3. 社会参加促進事業

音楽教室：尾鷲市福祉保健センターで開催。癒しの会主催で音楽療法士福田先生に依頼して実施。

開催 12 回 延べ参加人数 158 名（尾鷲市 113 名 紀北町 45 名）

フラワーアレンジメント教室：尾鷲市福祉保健センターで開催。

開催 12 回 延べ参加人数 162 名（尾鷲市 115 名 紀北町 47 名）

歩行訓練：生活訓練が必要な視覚障害者に対して歩行訓練やパソコン・点字の指導を行う。

開催 12 回 延べ参加人数 24 名

元気会：尾鷲市福祉保健センター機能訓練室で視覚障害者のリハビリを行う。食事会や外出行事も行う。

開催 22 回 延べ参加人数 57 名

ウイークエンドサークル：休日の日中活動の場として実施。尾鷲市福祉保健センターを中心に行うが、外出行事なども実施

開催 6 回 延べ参加人数 135 名（尾鷲市 94 名 紀北町 41 名）

おもちゃ図書館：障がい児等の遊び場の提供や交流の場として実施。おもちゃの貸し出しも行う。

開催 12 回 延べ利用人数 131 名

はあと畑：毎週月曜日、会員の昼食を作り、障がいのあるメンバー接客を行いながら就労体験をする。

延べ参加人数 70 名（尾鷲市 34 名 紀北町 36 名）

はあとの会：親子で療育活動を行う会のサポートを行う。

年間 11 回参加 延べ参加人数 84 名（尾鷲市 43 名 紀北町 41 名）

その他：尾鷲市、紀北町のスポーツ大会、紀北町の地域交流会、くろしお学園運動会、紀北作業所夕涼み会等に参加した。

4. ジョブサポーター事務局運営事業

ジョブサポーター養成講座を修了した者が、有償ボランティアとして活動し障がい者の雇用促進、職場定着を図る。平成 25 年度は 1 名の障がい者に対し 11 回の派遣を行い指導や雇用先との調整を行った。

5. 日中一時支援事業

夏休み、冬休み、春休みの長期休暇において家庭外の居場所が必要な障がい児に対して日中一時サービスとして預かり保育を行う。

利用者（小学生～高校生） 実人数 12 名（尾鷲市 9 名 紀北町 3 名）

延べ利用人数 200 名（尾鷲市 144 名 紀北町 56 名）

6. 障がい児等療育相談支援事業

(1) 療育相談

療育の専門相談機関としての役割を持ち地域で暮らす障がい児や家族の相談支援を行う。

相談支援の内容

単位：件

活動内容	延件数（昨年度）	実人数（昨年度）
電話	24 (54)	19 (29)
来所	58 (37)	47 (24)
訪問	35 (29)	18 (14)
ケア会議	52 (66)	28 (30)
助言・利用調整	88 (40)	15 (15)
重度心身障害児者相談支援	8 (13)	2 (3)
個別支援計画	25 (34)	25 (34)
保育所・教育機関からの相談・療育指導等	62 (64)	15 (17)
医療機関からの相談・療育指導等	65 (64)	15 (21)
企業・事業所からの相談・療育指導等	11 (0)	6 (0)
合計	428 (401)	190 (187)

(2) 療育指導（すまいる教室）

療育教室（すまいる教室）を開催し、障がい児や発達の気になる子どもに小グループによる療育指導を行った。親子参加を基本とし保護者の孤立を防ぎ相談や交流の機会とする。社会資源が少ない地域の障がい児に専門職（言語療法士・作業療法士等）による専門療育の機会の提供として言語療法士による指導を月 2 回、作業療法士による指導を月 1 回「風の広場」による専門療育指導（言語療法士）を年 4 回行った。

療育教室（すまいる教室）の参加状況

単位：人

	延件数（昨年度）	実人数（昨年度）
尾鷲市	21 (23)	537 (444)
紀北町	6 (8)	86 (104)
合計	27 (31)	618 (548)



(3) 発達障がい児等の早期発見システムへの参加

尾鷲市の保健・福祉・教育の担当者からなる「チームおわせ」に参加し、保育所、幼稚園の巡回相談を行い個別支援計画の作成につなげる。

保育所・幼稚園 7 箇所 延べ 12 回巡回した。その他、毎月の乳幼児健診委員会に参加し支援対象児の把握、草の実健診への協力、特別支援学級担任、介助員の研修指導も行い紀北地域おける、とぎれない支援の体制作りと関係機関との連携強化に努めている。

7. 就業生活支援事業

紀北広域連合障害者多機能型事業所 紀北作業所が受託している三重県委託事業。紀北作業所の就労コーディネーターが地域の障がい者の就業、生活支援として一般就労の他、資格取得や職場体験の支援を行った。平成 25 年度は一般就労が 6 名。三重県委託訓練の利用が 2 名あった。

III. 介護サービス部門

1. 居宅介護支援事業所

介護保険の指定居宅介護支援事業所として、居宅での介護サービスやその他の福祉サービス、保健医療サービスが適切に利用できるよう、利用者自身の立場でその有する能力に応じて、自立した生活を送るための公正中立な支援を行った。

1. 業務内容

- 居宅サービス計画（ケアプラン）の作成
- 介護保険要介護・要支援認定申請代行
- 利用者、サービス事業者との連絡調整
- 介護に関する相談・助言
- 介護保険外の福祉サービスや福祉制度の利用援助
- 介護保険施設への紹介
- 国保連への給付管理及び介護報酬の請求（訪問介護・訪問入浴・通所介護）
- 介護保険要介護認定調査（委託）
- その他の苦情や問い合わせ



2. 住宅改修支援事業請求実績

事業名	平成25年度	前年度
住宅改修支援事業	1名	1名

3. 居宅依頼実績

増減数	平成25年度	前年度
居宅新規	87名	75名
居宅終了	57名	/
※内訳（死亡）	28名	
（入所）	24名	
（移動）	5名	
予防給付 新規	3名	11名

4. 月別請求額

居宅介護

単位：件、円

提供月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用件数	177	181	179	178	181	179
収入額	2,639,000	2,688,000	2,650,000	2,635,000	2,667,000	2,631,500

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
184	189	185	189	190	182	2,194
2,719,000	2,786,000	2,724,500	2,772,000	2,768,500	2,671,000	32,351,500

※前年度 2,212 件 32,639,000 円 ※月遅れ請求分は含まない。

介護予防

単位：件、円

提供月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用件数	14	16	14	13	11	13
収入額	64,281	70,021	56,781	55,161	44,951	55,691

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
14	17	16	16	18	18	180
59,811	77,171	65,551	65,551	78,791	73,791	767,552

※前年度 117 件 501,741 円 ※月遅れ請求分は含まない。

5. ケアマネジメントの質の向上を図る

- ① 週 1 回 居宅事務所内でのミーティング実施
 - ・ サービス提供にあたっての留意事項
 - ・ 困難事例ケース検討等
- ② 居宅介護支援連絡会や外部研修会への参加



2. 訪問介護事業所

「いつまでも自宅で過ごしたい」との思いに応えられるよう、ホームヘルパーが自宅を訪問し、日常生活上必要な支援を行った。また、毎年行っている研修に加え、ヘルパー応援教室等を開催し、ヘルパーのレベルアップに努めた。

1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業（介護保険）

介護等が必要な方を対象に、自宅をホームヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助のサービスを提供した。昨年度に引き続き、初回の認定が軽度の介護度では社協を選択してくれる利用者が増えたが、重度になるにつれ施設を持たない社協への新規依頼は減少傾向であった。



自宅での掃除の支援



通院介助の移動の様子

(1) サービス内容

- 身体介護：食事介助、入浴介助、排泄介助、体位変換、通院介助、その他身体介護
- 生活援助：調理、洗濯、買物、掃除、その他の家事援助
- 身体介護と生活援助の組み合わせ
- 通院等のための乗車または降車の介助

訪問介護月別実績（月遅れ請求分は含まず）

単位：件、円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	104	106	110	100	105	104
収入額	4,184,790	3,941,410	3,892,100	4,112,280	3,830,490	3,995,730

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
103	103	103	103	103	95	1,239
4,068,980	4,239,030	3,966,320	3,701,920	3,391,300	3,677,680	47,002,030

※ 前年度 利用件数 1,320 件 収入額 50,250,020 円

介護予防訪問介護月別実績（月遅れ請求分は含まず）

単位：件、円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	15	16	17	21	20	22
収入額	246,000	256,200	270,400	394,500	386,500	394,500

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
20	23	21	19	22	24	240
343,700	400,500	341,600	292,800	359,800	384,200	4,070,700

※ 前年度 利用件数 185 件 収入額 2,964,300 円

2. 障害者総合支援事業

(1) 障害福祉サービス

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供では、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援の各事業を実施した。相談支援センターの計画作成が充実していく中で、適性利用時間の増加と新規利用者があり、件数、収入とも増加した。

月別単位数（実績月）

単位：件、円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	26	29	29	30	30	31
収入額	867,500	813,100	870,970	872,430	849,330	943,980

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
31	32	31	33	30	30	362
969,620	975,190	929,750	910,010	876,040	896,710	10,774,630

※ 前年度 利用件数 359 件 収入額 9,786,610 円

3. 生活支援サービス「あんしん」（保険外サービス）と一般乗用旅客事業

訪問系サービスの介護保険外事業の一環として、生活支援サービス「あんしん」と一般乗用旅客事業として、ケアプランに連動した輸送と介護保険外の輸送を実施している。

あんしん月別実績

単位：件、円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	17	20	17	14	17	17
収入額	37,000	56,000	53,000	45,625	53,000	43,500

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
17	21	16	15	15	17	203
53,000	63,000	43,500	33,500	38,250	42,000	561,375

※ 前年度 利用件数190件 収入額485,000円

運行利用料月別実績

単位：件、円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	99	95	99	89	99	97
収入額	156,120	149,270	130,800	151,050	159,680	147,190

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
101	105	95	92	93	92	1,156
195,430	187,850	143,090	164,760	139,570	156,360	1,881,170

※ 前年度 利用件数1,215件 収入額1,781,500円

4. 研修会等参加状況

単位：名

研修名	参加人数
障がい福祉サービス事業所基礎研修	2
交通安全講習	37
ヘルパー応援クッキング教室	16
災害時の食支援、口腔ケア研修会	2
ヘルパー応援腰痛・膝痛予防体操教室	39
ヘルパー応援教室「わかりやすい虐待のおはなし」	28
福祉サービスの苦情解決研修会	1
ヘルパースキルアップ臨床動作法	1
介護方法（実技）講習会	15
高次脳機能障がい者支援について	1
同行援護従事者養成研修（応用課程）	2
ヘルパースキルアップ精神障がい者支援研修会	14
津波発災時の心得講演会	31
認知症介護交流会	2



ヘルパー応援クッキング教室



ヘルパー応援教室
「わかりやすい虐待のおはなし」

3. 訪問入浴事業所

(職員体制)

職 種	常 勤	非 常 勤
1. 管理者	1	
2. 訪問介護員	2	8
(1) 看 護 師	1	1
(2) 介 護 員		6
(3) 運転管理員	1	1
合 計	3	8

1. 居宅介護サービス事業

(1) 訪問入浴・介護予防訪問入浴

介護保険の指定訪問入浴事業所として、看護職員や介護職員、オペレーターによって主治医の注意事項を守りながら、利用者の身体状況に応じた安全で快適な入浴サービスを提供した。年間を通して新規利用者の申し込みが少なく、これまでの利用者も減少しているため、前年度に比べ延べ利用人数、収入ともに約10%減少した。減少要因は、利用者の施設入所や死亡によるところが大きい。

① サービス内容

- ・ 血圧測定等の健康チェック
- ・ 衣類着脱介助
- ・ 浴槽への移動介助
- ・ 入浴介助

メリット

- 身体的負担が少ない
- 徹底した衛生管理
- 1チーム3名体制での手厚い介護
- 期待できるリハビリ効果



◇訪問入浴介護月別実績（月遅れ請求分は含まず）

単位：件・円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	101	93	93	89	62	63
収 入 額	1,206,250	1,108,140	1,120,010	1,060,000	722,500	750,000

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
83	69	54	64	61	63	895
992,500	839,380	651,260	772,730	736,250	761,250	10,720,270

※前年度 利用者件数(述べ) 980 件

利用金額 11,854,430 円

4. 輪内通所介護事業所

要支援・要介護状態となった場合でも、自立した日常生活を送ることができるよう、障がい者も含めて日常生活上の世話や機能訓練を行うとともに、引きこもり予防や社会参加および介護をしている家族の負担軽減を図るために通所介護を実施した。



1. 通所介護・介護予防通所介護事業 (介護保険)

《サービス内容》

- ① 入浴サービス（特別機械浴、一人浴、一般浴）
- ② 送迎サービス
- ③ 生活指導 ・健康チェック ・レクリエーション ・創作活動
・運動器機能向上(個別機能訓練)サービス
- ④ 食事の提供

(月別請求額) 月遅れ請求分含まず。

単位：件・円

介護予防通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	14	13	13	11	9	10
収入額	430,720	427,340	427,340	356,680	286,020	329,750
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	10	8	7	8	7	119
307,320	308,450	240,040	210,860	231,040	213,110	3,768,670

通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	30	30	32	31	29	28
収入額	2,170,580	2,031,870	2,062,690	2,217,690	1,768,840	1,858,080
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31	34	32	34	27	27	365
2,045,920	2,029,070	1,803,570	1,846,390	1,603,960	1,658,880	23,097,540

障害者通所介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
請求件数	0	0	2	3	3	3
請求金額	0	0	72,200	173,280	281,580	187,720
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	3	3	3	3	3	29
216,600	223,820	238,260	209,380	238,260	281,580	2,122,680

(前年度請求件数)	介護予防通所介護	176件	金額	6,026,380円
	通所介護	398件	金額	25,623,410円
	障がい者通所介護	11件	金額	664,240円

2. 一次予防・二次予防の実施

尾鷲市から委託を受けて一次予防（にこにこ）として、市内在住で65歳以上の高齢者向けの介護予防に向けた取組が主体的に実施されるような地域社会の構築を目指し介護予防を実施し普及啓発に努めた。

二次予防（元気応援教室）として、要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがある高齢者向けの要介護にならないことを目的とした通所型介護予防事業（運動器機能向上・うつ・閉じこもり・認知症予防を目的）の委託を受け、介護予防の実施および普及啓発に努めた。

(月別請求額)

単位：回・円

一次予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催数	4	4	4	4	4	4
収入額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8	4	4	8	7	8	63
200,000	100,000	100,000	200,000	175,000	200,000	1,575,000

二次予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催数	4	2	3	0	0	0
収入額	120,000	60,000	90,000	0	0	0

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	5	4	0	0	0	22
120,000	150,000	120,000	0	0	0	660,000

(前年度請求件数)一般高齢者事業 48人 金額 1,200,000円

特定高齢者事業 12人 金額 1,440,000円

三重県デイサービス協議会に加入し、各種研修に参加してサービスと職員の質の向上に努め、自宅での生活の延長として要支援・要介護者を対象にデイサービスを提供した。通所介護・介護予防通所介護ともに利用者、収入ともに減少。

5. 尾鷲通所介護事業所 (いきいき)

1. 通所介護・介護予防通所介護事業 (介護保険)

(1) 通所介護・介護予防通所介護

介護に頼らない自立した生活を目指し、運動器の機能向上ための事業を実施。器具を使った運動、器具を使わない運動など積極的に取り組んだ。研修会（デイサービス協議会）に参加すること等により事業所全体の質の向上に取り組んだ。

① サービス内容

〈共通サービス〉

- 身体の介護・支援に関すること（排泄、移動など）
- 生きがい生活支援（レクリエーションなど）
- 送迎サービス
- 日常生活における相談・助言

〈選択的サービス〉

- 入浴サービス（通所介護）
- 個別機能訓練サービス（通所介護）
- 運動器機能向上サービス（介護予防通所介護）



通所介護月別実績（月遅れ請求分含まず）

単位：件・円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	8	9	9	10	10	12
収入額	259,330	292,110	223,820	325,220	378,890	366,338

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
15	14	15	15	15	14	146
499,560	493,437	439,452	581,470	526,000	547,720	4,933,347

※ 前年度 利用件数 83 件

利用金額 2,576,140 円

介護予防通所介護月別実績（月遅れ請求分含まず）

単位：件・円

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
利用件数	18	21	19	21	11	19
収入額	446,040	501,081	486,377	490,623	297,430	445,970

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
18	17	19	16	17	14	210
407,693	382,210	488,570	424,880	446,110	382,420	5,199,404

※ 前年度 利用件数 190 件

収入額 5,197,530 円

2. 一次予防・二次予防の実施

(1) 一次予防

尾鷲市から委託を受けて、市内在住で65才以上の人を対象に介護予防に対する啓発に努めるとともに、介護予防サービスを実施した。

(2) 二次予防

要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがある高齢者向けのサービスや予防のための運動器機能向上に努めた。

単位：件・円

開催数/金額	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分
一次予防	5	4	4	5	4	4
	125,000	100,000	100,000	125,000	100,000	100,000
二次予防	4	3	4	4	4	3
	120,000	90,000	120,000	120,000	120,000	90,000

10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	合計
5	4	4	8	8	8	63
125,000	100,000	100,000	200,000	200,000	200,000	1,575,000
7	9	7	4	4	5	58
210,000	270,000	210,000	120,000	120,000	150,000	1,740,000

(前年度) 一次予防 開催数 51回 1,275,000円
二次予防 開催数 56回 1,680,000円

(3) 新年交流会の開催

日時：平成26年1月18日

内容：いきいき利用者（要介護者、要支援者、一次・二次予防）

利用者ほか 45名で新年交流会を実施

(4) 防災訓練の実施

日時：平成26年3月17日から 10回実施

内容：利用者の避難誘導及び避難経路の確認（福祉保健センター）

IV. 輪内高齢者サービスセンター

1. 輪内高齢者サービスセンター

1. 社会福祉協議会の分室機能

輪内地区の福祉の向上を図るため、次のような事業を行った。

(1) 社協業務の受付窓口としての機能

① 輪内地区における募金事業の窓口として事業を推進した。

5月 日赤募金 10月 共同募金

② 福祉相談窓口業務として相談を受け、市や介護保険関係事業所との連携を図った。

(2) 台風接近により高齢者サービスセンターを避難所として開設した。

台風接近により避難所開設回数 4回 17名避難した。

(3) 施設の適正な管理・運営に努めた。

2. 輪内地区食の自立支援事業（市受託事業）

生活支援型配食サービスとして、週3回（火、木、土）、「食事を作ることが困難な高齢者」を対象に、食事内容の検討及び調理を行い各家庭へ配食した。

対象地区	輪内地域 (梶賀、曾根、賀田、古江、三木里、三木浦)
登録者数	(平成26年3月現在) 32名
延べ配食数	3,553食
事業費	2,052,000円
(うち市受託分)	(644,800円)

地区別登録者内訳

(梶賀1、曾根4、賀田11、古江10、三木里2、三木浦4)

3. 輪内地区あったか弁当事業（自主事業）

平成21年度から、食事を作ることが困難で、市の配食サービスの対比とならない住民に対して自主事業としての配食サービスを実施。平成25年度は、梶賀町で年間321食の配食を行った。

